

ベトナム 日本式周産期サービス 収益計画について(1/3)

需要環境、競合環境および価格水準環境から、想定患者数と想定平均価格を設定する

1) 需要環境:分娩に対する需要は底堅い

現地医療機関のインタビュー及び患者アンケート調査によると、分娩についてのベトナムの医療機関体制は十分に整備されているとはいいい難く、民間医療機関の参入できる余地は十分あるといえる。現在においても、外資系の民間病院での分娩を受診している患者がいることを勘案すれば、ベトナムの経済成長からこのような高度な民間医療機関による分娩を希望する患者は増えていくものと考えられる。

2) 競合環境:競合は中間層～富裕層向けの外資系病院

競合となる医療機関は今回現地調査を行った有数の病院に限られるものと考えられる。特に立地環境について十分に考慮すれば、今回の実証結果から、日本式の分娩方式に対するベトナム人の評価は非常に高く、価格帯が同程度であれば十分に競争優位に立てるものと期待される。

3) 価格水準:価格水準は外資系病院と同水準と設定

現地調査によるベトナムの民間医療機関での分娩サービス価格水準は、20万円程度となっている。また帝王切開などの他の医療行為が必要となった場合は別途費用が必要となるが、現地ヒアリング調査によると、20万円程度の分娩費用が、中間層～富裕層を対象としている外資系病院では一般的であり、一定の相場感を作っているものと考えられる。

ベトナム 日本式周産期サービス 収益計画について(2/3)

4) 事業計画上の想定患者数と平均価格

- i) 想定患者数上記のような需要環境および競合環境から、患者数の設定を下表（図表・44）のように設定した。患者数の推移は、事業計画上の要員計画にて処理できる患者数として、2016年（初年度）を1079件（平均90件/月）の分娩と設定した。処理できる患者数については、日本での実績値を基に試算した。ただし現地によるマーケティングや広告などは特に重要となるものと考えられる。



ベトナム 日本式周産期サービス 収益計画について(3/3)

ii) 想定平均価格

事業計画上では平均分娩価格を173,540円、平均産婦人科価格を4,972円と設定した。分娩価格の区分内訳は正常分娩を160,000円、異常分娩を190,000円、帝王切開を220,000円としている。これは現地外資系病院相場を基準として設定した。また価格調整については、ジェトロの基礎的経済指標によると、経済成長率の5%、及び消費者物価上昇率9.2%の状況である。長期的に物価の上昇が維持されるとはいい難く、さらに今回の価格設定は中間層～富裕層向けであることから、事業計画上では2019年度より平均分娩価格を4.6%の値上げとした。